

こもろ 市議会だより

12月定例会

No. **168**
平成29. 1. 25



未来を担う若者に期待

成人式にて

3月定例会は、2月28日(火)開会の予定です

明けまして
おめでとうございます。

主な内容

- 12月定例会の概要 2～4 ページ
- 常任委員会報告 4～5 ページ
- 個人質問 (17名) 6～14 ページ
- 議員紹介 14 ページ
- 議会制度改革検討委員会報告 15 ページ
- 総合計画第10次基本計画審議特別委員会報告
傍聴席・編集後記 16 ページ

議案を訂正・ 討論続出の12月議会

◆御影用水越流災害 復旧工事費1億円の補正 予算を即決

去る11月9日未明に軽井沢千ヶ滝西地区において、小諸市が所有し管理する御影用水が越流し、大きな災害が発生しました。災害現場は、軽井沢でも多くの別荘が立ち並び一帯です。

人的被害はなかったものの建物被害が3棟（全壊2棟、半壊1棟）、敷地内土砂流入、断水等で約20戸の別荘が被災し想定外の大災害となつてしまいました。

詳しい原因は現在調査



【御影用水越流災害現場】

中とのことですが、御影

用水（上堰）への落石が原因で水路を塞ぎ、用水が越流したことが一因ではないかと推測されます。

小諸市は、9日午後には災害対策本部を設置し、小諸市建設業協会と対応を協議するとともに地元軽井沢町、佐久建設事務所等と二次被害防止のための対応を講じています。

また、ボーリングや地質調査を実施し、復旧工事に向けて工事設計を行い、できるだけ早く復旧することを旨と報告を受けました。

議会としては、11月28日に経済建設委員が現地を確認し、今定例会で、応急復旧工事費として1億円の補正予算を全会一致で可決しました。

今後、本復旧工事費の他、災害補償等も考えられており、被災総額は確定していません。

この災害を教訓に各地区の用水管理の在り方の検討、維持管理体制の再構築等を行政に求めたいきます。

平成28年第6回12月定例会は、11月29日から12月20日の22日間の日程で開かれました。本定例会に理事者から提出された案件は、補正予算、条例等26件で、採決の結果すべて可決しました。また、議員からの発議では、小諸市議会基本条例、議員派遣、各庁への意見書の提出を求める発議が提出され、全会一致で可決しました。

主な議案

◆総合計画

小諸市総合計画第10次基本計画の策定について

※詳しくは本紙16頁をご覧ください。

◆条例

小諸市議会基本条例

※詳しくは本紙15頁をご覧ください。

小諸市中小企業振興条例

中小企業振興の環境整備を図ることを目的とし、市の基本理念及び基本方針と、市の責務、中小企業者の努める事項を定める条例です。

小諸市印鑑条例の一部を改正する条例

平成29年1月10日より

個人番号カードを利用した印鑑登録証明書のコンビニ交付を行うための改正です。

◆補正予算

平成28年度小諸市一般会計補正予算（第6号）

主な内容は次の通りです。

○民生費では、国の補正予算に伴い、消費税率の改定までの間の経済対策として、臨時福祉給付金1億4千339万円を新たに追加

○農林水産費では、県の「産地パワーアップ事業補助金」の承認に伴い、集出荷施設等の整備費として2千750万円を増額。

○土木費では、小諸駅のバリアフリー化設備整



「エレベーター設置予定の小諸駅」

備のため2億円余を増額。

○教育費では、ICT教育環境整備にあたり、小中学校の全教室に大型ディスプレイを設置するため2千671万円を増額。

意見書

●「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書」を内閣総理大臣他関係省庁へ提出しました。

討 論

4つの議案で討論があり、採決の結果いずれも、賛成多数で原案可決となりました。

議案第98号小諸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

※人事院勧告に伴い、市議会議員の期末手当を0・1月分引き上げる改正。

反対討論

厳しい財政状況に加え、野岸小学校耐震工事未実施問題や御影用水越流で、計画になかった想定外の支出が重なり、市民サービスに使われる筈の予算が回される。貴重な市民の皆さんの税金を使うのだから、報酬等審議会に諮問すべきであった。人事院勧告は必ず従わなければいけないものではなく、小諸市の現状を見て判断すべきで、議員の手当引き上げには反対だ。

賛成討論

長野県で県内民間給与との格差が調査された人事委員会勧告に基づいて、市議会議員の期末手当が改正されるものです。今までもこのルールに沿って実施され制度改正を根拠として引き下げも行われてきました。これに代わる公正で透明性が担保され、市民の納得が得られるような客観的で合理的なしくみがない限り、現在のルールに従うことが妥当である。

反対討論

小諸市の財政は極めて厳しく、更に野岸小、御影用水越流事故など想定外の巨額な負担を伴う問題もたて続けに発生している。生活に密着した予算は削られ、市民は悲鳴をあげ、また子どもは貧困を始めたとして、将来を危惧せざるを得ない問題が横たわっている。こうした状況からも、期末手当引き上げは、市民の理解は得られないし絶対に認められない。

議案第100号小諸市特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

※人事院勧告に伴い、特別職で常勤の者の期末手当を0・1月分引き上げる改正。

反対討論

反対理由は、小諸市は大型事業の推進、人口減少による税の減収、また「野岸小学校耐震化未実施問題」の対応、「御影用水土砂崩落」の復旧等の一部に1億円の支出、尚今後補償問題等には3億円余ともいわれています。今後市民の血税での対応が求められます。よって容認できないので反対します。

賛成討論

公務員の給与は国の人事院勧告や県の人事委員会勧告に基づいて、国・県の職員の給与改正が行われ、それらに準拠して、市の職員も改正される。人事院勧告制度は全てが良いわけではないが、少なくとも客観性があり合理的だ。また、これに代わる客観的な制度がない現状では、現行のルールに沿うべきである。

反対討論

人勤制度は十分理解するが、今は予期せぬ多額の支出が相次いでいる。御影用水越流事故の経過では、職員や関係者の対応が適切に行われていれば防げた事故と思われる。職員は業務量増大、人員の削減で余裕のない状況だ。組織全体の改善を図り業務にあたることは管理者の責任。引き上げは市民の理解が得られず認められない。

議案第101号小諸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

※人事院勧告に伴い、小諸市の一般職の勤勉手当0・1月分の引き上げ、給料を若年層に重点を置き平均0・36%引き上げなどを行う改正。

反対討論

人事院勧告・県人事委員会の勧告については、従う義務はない。基金減少、市債増加など厳しい財政状況に加え、野岸小、御影用水越流事故は、更に財政を圧迫させる。また子どもは貧困など、人事院勧告に現れない社会状況もある。更に非常勤保育士などは、勧告に準拠した改定の対象外であるが、予算はむしろこうした職員にこそ優先されるべきだ。

賛成討論

給与改正には「一定のルール」が必要であり、客観的なルールに基づいた金額が、安定的に支給されるべきである。小諸市は、人口1人当たりに対する職員給与費は、県下19市中最下位である。長期財政試算の中でもさらに毎年1名ずつ職員の削減を計画している。民間に勤めている人との均衡を図って、給与の金額を決める現在の制度は、理にかなっている。

議案第107号小諸市総合計画第10次基本計画の策定について

反対討論

国会では「部落差別解消法」が成立し、不公正な同和行政の復活が危惧される。特定の運動団体による教育・啓発の強制の根拠とならないか。小諸市でも過去に糾弾集会が行われ、住宅新築資金の未収納が6億円以上あるなど、特定の団体が行政に介入した様々な問題があった。人権政策の「同和」の字句と、施策1―5の「同和問題をはじめ」は削除することを求める。

賛成討論

部落差別によって、流さなくてもいい涙を流している人がいる。部落差別のために、辛く、切ない思いをしている人がいる。残念ながら、これが現実である。小諸市議会では「部落解放都市宣言」を決議している。今なお厳然と存在する「同和问题」の文言を削除することは到底できないし、これを認めることは、小諸市議会の自己否定につながることもある。

議案に対する表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決しました。●は賛成、○は反対を表しています。

議案名	高橋公	土屋利江	掛川剛	小林一彦	丸山正昭	山浦利夫	早川聖	竹内健一	柏木今朝男	神津眞美子	清水喜久男	依田善典	中村憲次	小林重太郎	田中寿光	福島鶴子	柏木博美	林稔
議案第98号 小諸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	●	●	●	○	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	●
議案第100号 小諸市特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	●	●	●	○	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	●
議案第101号 小諸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●
議案107号 小諸市総合計画第10次基本計画の策定について	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●

※1 議長は表決には加わりません。

請願・陳情の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	小諸高等学校スクールバス運行継続を求める請願書	小諸高等学校同窓会 会長 鷹野 昭裕 外2名	採 択
陳情	最低制限価格の設定に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 小河 節郎 外1名	不採 択

12月12日

総務文教委員会

報告

■小諸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正(期末手当の引上げ)

質疑

小諸市特別職の給与改正に準じて、議員手当も改正が必要なのか。

答弁

準拠しなければならぬという法律上の規定はないが、公務員は労働基本権が制約されており、その代償措置である人事院勧告は尊重すべきで特別職や議員も職員との均衡を図るべきと考える。

■小諸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(給料及び手当の引上げ)

質疑

人事院勧告は、国政レベルの大企業の賃金が反映されていると思うが、小諸市内の民間企業が厳しい状況をどのように考

えているか。

答弁

市職員の給与改正は、長野県人事委員会勧告による県職員の給与改正に準拠している。官民比較では県内従業員50人以上の企業を調査している。

■小諸市市税条例等の一部改正

質疑

国税の延滞金の計算期間の見直しに準じて個人住民税及び法人住民税の延滞金計算期間の見直しと、自主服薬推進のためのスイッチOTC薬購入費用の医療費控除等であるが、市民周知はどうか。

答弁

延滞金の期間見直しの方へは個々に通知を出してお知らせする。スイッチOTC薬購入の医療控除は、来年の申告時など機会をとらえ広報や説明を行う。また、薬局でのポスターの掲示による啓発も行われる。

■平成28年度小諸市一般会計補正予算(第6号)

質疑

歳入の県補助金540万円

の事業内容と進捗状況はどうか。

答弁

浅間山の携帯電話不感地帯解消のために黒斑山に電源設備整備事業に対する補助が決定したもので、今年中に完了する。

質疑

保育所給与費が2千万円ほど減額であるが、その理由と正規保育士の年次別構成はどうか。

答弁

保育士と給食調理員の退職等に伴う人員減が理由で、年代別構成では53歳から下の約10歳の年齢層の保育士がいない状況であり、今後の保育所運営を危惧している。



12月13日
福祉環境
委員会
報告

■小諸市印鑑条例の一部を改正する条例

質疑

コンビニで印鑑登録証明書の発行が可能になり利便性は高まるが、カードを紛失した場合など個人情報流出の危険性への啓発はどうか。

答弁

利便性の向上だけを訴えるのではなく、交付の際に利用者に十分な注意を促していきたい。

■平成28年度小諸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

質疑

高額療養費の上限額が上がるが、小諸市の試算はどうか。

答弁

厚生労働省で制度改革が検討されている。今回の改正で限度額が引き上げられる対象者は、住民税が課税となっている

方々と想定されるが、具体的な影響額や人数は、国の正式な決定がされるまで試算ができない状況にある。

■平成28年度小諸市水道事業会計補正予算(第2号)

質疑

特別損失として1千500万円余が計上されているのに、現金の移動がないのはなぜか。他への影響はないか。

答弁

平成27年度に消費税の支払いは済んでいるが、公営企業会計上処理する必要があるのであり、他への影響はない。

■平成28年度小諸市一般会計補正(第6号)

質疑

生活保護対象者と扶助費が増加しているが理由は何か。

答弁

今回の補正のほとんどが医療扶助費である。保護世帯の方の高齢化に伴い、持病の悪化などで入院が増えている。

質疑

生活保護受給者を減らす対策はあるのか。

答弁

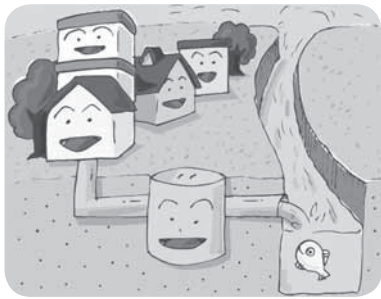
傷病等で、生活保護になつた方については、まず、治療をしていただき、その後労務支援など、自立のための支援を行っていく。

質疑

下水道環境費の「繰出金」について、国の査定方法の見直しによる大幅な減額の影響はないか。

答弁

基本的には、繰入れ額減額分については、企業債準化債により経営を継続させていくことになる。



12月12日
経済建設
委員会
報告

■小諸市農業委員会の委員及び小諸市農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

質疑

今までは、農地部会と振興部会があり、両方も廃止になる。新たな農地利用最適化推進委員と農業委員の仕事の割り振りはどうなるのか。

答弁

農業委員は今までの農地部会の3条、4条、5条の審議・議決を行い、推進委員は荒地解消や集団営農に向けた取り組みを行うことになっている。当面の間は、両委員は協力しながら同じ仕事をしていく事になる。

■小諸市農村資源活用交流施設の指定管理者の指定について

質疑

「あぐりの湯こもろ」の指定管理期間が平成29

年3月末に終了するが、新たに指定する指定管理者の公募をどの様に考えているのか。

答弁

一年間は公募によらず、現在の佐久浅間農業協同組合で行い、大規模改修後の指定管理者は一般公募も含め検討している。

質疑

■平成28年度小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計補正予算(第1号)

質疑

この事業は、今後黒字にできるのか、また鹿の原料確保はどうか。

答弁

5年間で黒字にするという計画を国に提出しており、OEM独自ブランド等新たな商品開発により、黒字に出来ると考えている。

鹿880頭は、周辺自治体に依頼しており、回収用の車両も購入してあるので、周辺自治体の協力を得ながら安定した頭数を確保していきたい。

■平成27年度国補都市再生整備計画事業地域生活基盤施設市宮中央西側駐車場整備工事変更請負契約について

質疑

駐車場の名称は、中央地下駐車場を第1駐車場、中央西側駐車場を第2駐車場、赤坂駐車場を第3駐車場とし、今回満空表示灯を相生町に2箇所、赤坂通りに2箇所設置予定であるが、駐車場誘導案内がなければ、利用者は行き先に迷うのではないか。

答弁

今回の表示灯設置では駐車場誘導案内は難しいため、道路標識を含め研究をしていきたい。



建設中の中央西側駐車場(第2)

災害罹災者支援対応はどうか 御影用水の緊急連絡体制はどうか



清水喜久男
(新政会)

いので、罹災者の実情に沿った検討をしたい。

質問

御影用水の緊急時における連絡体制はどうか。

市長

現在、緊急時の連絡体制が十分に機能を果たしていると言えないので、用水敷地所有者の軽井沢町・御代田町そして管理委託している御影用水管理委員会と協議し、連絡体制を築くと共に管理体制も見直したい。

質問

御影用水管理委員会の維持管理業務は、4月の御影区、一ツ谷区住民総出による用水さらいや草刈り等でありますが、現地へ行く際の交通事故や作業事故についての対応はどうか。

経済部長

条例に定めてある管理委託業務以外につきましても、今回の教訓を生かし、用水管理委員会の皆さんと協議して決められる部分は決めたい。

そばのコンバイン補助制度は、農地が境界線の佐久市側にあると補助してもらえないのか？



高橋 公
(市誠会)

農地が市外の場合は補助の対象から外れるが、佐久市の市長とも話をし、どんな方策が取れるのか研究していきたい。

質問

もともと先祖伝来の土地なので後から引かれた境界線でコンバイン補助が使えないというのは、市民には責任が無い。

別の条文に「必要な事項は市長が別に定める」とあるのでこれを適用して市長が手を打てば、耕作放棄地になる可能性もなくなると思うが、市長いかがか。

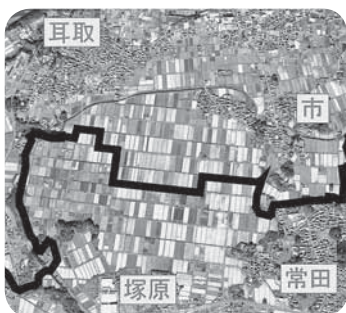
市長

そうですね。その部分も生かせるように直ちに検討します。

小諸市コンバイン利用補助金を利用できるのは「市内に住所または事務所を有し、市内の農地においてそば、小麦等を栽培している生産者」となっている。三岡地区の南側の、耳取区、市区と佐久市の境界線は、この図のように非常に不思議な形で引かれている。

佐久市側に農地を持っている小諸市民から「高齢化でそばに切りかえたいが補助制度がない」という相談を最近受けるようになった。早急に制度の要綱の見直しが必要だと思うが、市長はどうか。

市長



耳取区・市区と佐久市との境界線

小諸市の歴史的建造物等の保存と活用について 本質的な価値の把握と共有、資産的価値の見極めが必要

質問

小諸城址懐古園の石垣の保存状態はどうか。

市長

懐古園の石垣は、このところ天守台の石垣の一部などはらんでいる箇所が幾つかあることを確認している。今後は石垣の写真撮影し、石の位置や状態を記録する作業を実施することで、保存管理に役立てていきたい。

質問

なぜ懐古園は史跡に指定されていないのか。

教育長

懐古神社等の所有者の同意を得て市が行うということになっており、指定を受けると、改修



小林 一彦
(市誠会)

小諸市スポーツ推進計画について 小諸市消防団について

質問

グラウンド等へのナイター設備についてはどう考えているか。

市長

南城公園野球場等へナイター設備を設置することの有効性は理解でき、利用者の皆様からの要望があることも認識をしているが、人口減少が進み、財政が厳しさを増す中においては、ナイター設備は多大な初期費用とともに、維持管理費用を伴うものであることから、実現は大変厳しいものと考えます。優先すべきは既存施設の維持管理であると考えております。

質問

平成の森マレットゴルフ場の



丸山 正昭
(市誠会)

今後の整備内容はどうか。

市長

本年、マレットゴルフ部から施設整備に関する要望書が市及び教育委員会に提出されました。その内容はいずれも理解できるものでありますが、多額の費用がかかるものも多くありますので、教育委員会とも相談し優先順位を付けて、できるところから対応してまいります。

質問

小諸市消防団協力事業所表示制度にメリットはあるのか。

市長

法人や個人事業主に対する事業税減税の優遇措置や建設工事、物品買い入れ等の入札参加資格登録や総合評価落札方式による優遇等の支援が行われております。また、本年度から、同じく県の優遇措置として、中小企業振興資金における貸付利率の優遇が新たに追加されておりますので、認定を受けるメリットはあると考えております。

「財源確保」「危機管理」「農業振興」

のために



柏木今朝男
(公明党)

今や自然災害がいつ我が地域を襲ってくるか分からない状況下にあつては、早急に避難所運営マニュアルを作成すべきでは。

市長

自主防災組織が主体となるマニュアルの整備が必要と考えており、早急に作成していきたい。

質問

自主財源の確保策としてクラウドファンディング、ふるさと納税や企業版ふるさと納税の具体的な取り組み状況はどうか。

市長

クラウドファンディングは現在準備段階だが、例えば老朽化している動物園の獣舎や、平成の森のトイレ改修等を全国に発信して協力いただくことが考えられる。ふるさと納税は、2つのポータルサイトに登録、返礼品も大幅拡充し、来年度1億円獲得できるように頑張りたい。企業版ふるさと納税は、具体的な取り組みはないが、検討したい。

質問

平成29年度予算編成の方針について
臨時職員等の雇用条件の改善を



山浦利夫
(市誠会)

市長方針を踏まえて全ての事務事業に優先順位を付け、断捨離業務の効率化などの観点から内容の見直しを実施する。

質問

道水路の改良・維持補修等、生活に密着した事業要望に対応していくために、新たな制度をつくることはどうか。

市長

予算編成と第10次基本計画はどのように連動していくのか。

市長

これまででは予算の制約が考慮されずに基本計画に基づく政策選択がされるといふ課題があった。第10次基本計画では計画に「財政目標」を組み込み、一定の予算的制約の中で、政策選択を行う計画としている。

質問

事業の「選択と集中」をどのように考えているか。

市長

今後、事業の「選択と集中」は避けては通れない。実施計画策定方針の中で、行財政改革の

地域の事情や特性等を、現行の中で評価・加味できるようなものに改善をしていくことで対応できればと思う。

質問

臨時職員の賃金等、雇用条件改善の考えは。

市長

職種や職務の勤務条件等に応じて決定している。専門職等は雇用確保に苦慮している実態もあるため、引き続き県内及び近隣市町村の状況や一般事務職とのバランス等に配慮しながら雇用条件の改善等を実施し、雇用の確保に努めていきたい。

障がいのある人も無い人も ともに生きる社会を作るには

質問

障害者差別解消法の障がいのある方への合理的配慮をどのように進めているのか。

市長

市庁舎にユニバーサルデザインを取り入れ、窓口にもローカウスターを配置しています。

質問

手話通訳者を配置して、庁内の窓口業務への支援はどうか。

総務部長

窓口対応全般、手話通訳の配置も含めて検討していきます。

質問

災害時に、手話で安否確認や避難誘導ができる「災害時に役立つ手話」の講座を開催し、地



土屋 利江
(公明党)

域で手話のできる人材を増やす取り組みはいかがか。

総務部長

防災の観点から研究します。

質問

若者の自殺者を予防するにはゲートキーパーの活動が大事だが、ゲートキーパーと自殺を防ぐ相談機関が連携して支援ネットワークを作ることはいかがか。

民生部長

メンバーカードの裏面に相談窓口を明記するとともに、自殺対策委員会を通して支援のネットワーク化を図っています。

質問

子どもの健全育成と安心・安全の確保に向けた地域総ぐるみの取り組みで、地区の有志が放課後児童の居場所として公民館を解放していますが、活動を続けるための支援はないか。

市長

本当にすばらしいことだと思います。支援金については、いろいろ研究してまいります。

「市役所・病院駐車場」 わかりにくく事故心配 「病院との経費負担協議」 しっかり行え

質問

1年2か月たった今でもわかりにくいとの声が多く出ている。病院開院に向けて課題は多いが協議は順調に進んでいるか。

市長

定期的な会議で利用方法や誘導のほか管理運営費用の負担範囲など協議を進めている。

質問

負担割合の協議はどのくらい進んでいるのか。

建設部長

利便性についての課題や改善点と合わせ、負担割合等引き続き協議を進めている。(具体的な負担割合の答弁なし)

質問

利便性や使いにくさについて病院と認識の共有はどうか。

建設部長

実態調査を一緒にやっている。駐車台数では最大391台だが、これ以上必要になるのかも含めて検討している。

質問

わかりやすい駐車場案内には3つのポイントがある。①目的地に正しく行ける誘導②自分がどこにいるかわかる表示③駐車場所に正確に戻る案内だ。専門家を入れた検討をしているか。

建設部長

病院も含めて検討していく。(専門家に関する答弁なし)

質問

建設中の中央西側駐車場は狭い所を回り上がり下りし、そこに駐車スペースもある。衝突や人身事故が心配だ。専門知識を持った誘導員の配置が必要。

建設部長

引き続き、病院側に応分の費用負担を求めていきたい。



掛川 剛
(日本共産党)

人事評価制度の人事異動への連動を



田中 寿光
(創正会)

質問

人事評価制度の現状と課題について考えはどうか。

市長

本市では、平成28年4月の地方公務員法改正に伴い、新たな人事評価制度への移行を平成29年4月に予定し、現在制度設計を進めている。本制度の目的は、評価することにより差をつけることではなく、人材育成のツールとして職員の能力開発や人材育成につながり、その結果職員を成長させ、組織としての業績、成果の向上を期待するものである。

質問

人事評価制度の人事異動への

連動は考えているか。

市長

本制度の評価結果を任用、給与などその他の人事管理の基礎とすることとされており、本市においても人事異動や昇給、昇格などの人事管理に反映させ、適正な職員配置や効率的な行政運営が図れるよう取り組んでまいります。

質問

ふるさと納税の現状と返礼品等の状況はどうか。

市長

本市のふるさと納税は、9月15日に大幅な拡充をしました。返礼品を4種類から、73種類に増やし、内容、種類とも充実を図りました。また、インターネットのポータルサイトへの掲載をし、サイト上で寄附の申し込み、寄附決済ができるようにしている。さらに12月1日にも拡充し、返礼品を156種類に増やした他に、ポータルサイトの追加も行ってまいります。

小泉市政を問う

— 市民が主役のまちづくりをめざして —



福島 鶴子
(改革の嵐)

質問

市長就任7ヶ月が経過。市政運営に「小泉色」が見えないが「小諸未来プロジェクト」に優先順位はあるのか。

市長

全体で小諸に元気と誇りを取り戻したいと考えているので、明確な優先順位の想定はない。

質問

今後4年間の小諸市政運営の柱となる、第10次基本計画の策定に至る時間が短すぎた。示されたものを、只オーケーと言う訳にはいかないので、議員として独自に調査研究する余裕がなかった事を残念に思っている。これについてどう考えるか。

市長

「少し短かったかな」という反省はある。

質問

自主財源確保として「不要財産の洗い出し」が必要と考える。公営住宅地の整理はどうなっているか。

建設部長

市内の住宅ストック活用法の計画を立てているところ。整理して売却等も前提に考えていく。

質問

御影用水の越流災害。第1次は天災であり、どこでも起こりうる事だが、その後の対応には問題も多い。業務委託（アウトソーシング）により、職員に「自分の仕事」意識が薄れていくとも考えられる。組織として仕事に対する詰めの甘さがあるのではないか。

市長

ご指摘の詰めの甘さ、緊張感の薄さは否めない。今後、この教訓を活かしていきたい。

小諸市のゆるぎない水道政策を どのように進めるのか

質問

由緒ある来歴と、恵まれた水道環境を誇る、安定的な市民生活と産業の基礎を成す上水道施設が近年になり耐用年数を迎えると同時に新たな計画的対策を講じる時期にきている。そこでアセットマネジメントとはどのようなものか。

市長

水道施設の更新計画の策定のための基礎資料となるもので、概ね40年の長期に渡る更新需要とその財政状況の施策であり資産管理をなすものである。

質問

市の水道ビジョンをどの様に策定するか。



依田善典
(創正会)

市長

小諸市は上水道事業基本計画として20年間の基本方針の策定を進めており、水道ビジョンは当初の10年間の具体的方針を定めるもので現状分析や施設経営などの課題を踏まえ水道の未来像を見据えて策定して行く。

質問

持続可能な将来の水道の在り方をどの様に考えるか。

市長

財政基盤に立脚した営業、効率的な更新計画の推進と考える。

質問

業務委託により生ずる利点は。窓口業務を中心とした包括的業務委託を考えている。経験豊かな民間企業に委託することで関連業務の効率化が図られる。

意見

現在の安定した水道を次の世代に引き継がせて行くために、ゆるぎない水道体制の構築を進めていただきたい。

基本計画が市民の幸福度を上げるための 行政計画となっているか：

質問

第10次基本計画では新しく財政目標が導入されたが、今後10年間の長期財政試算では、次期計画期間になる平成32年以降の財政状況が悪化していく。基金残高は減り続け、市債残高は平成32年がピークとなり、その後わずかに減少するものの、実質公債費比率は今期よりも更に高くなっているが、どうか。

総務部長

より改善をしていくということとを目標に取り組んでいくとお受け取りいただければと思う。

質問

財政目標の導入と市長公約の反映が今基本計画の特徴だ。



神津眞美子
(新政会)

公約の最初に挙げられたのは市役所改革で、市役所は地域で最大のサービス業とある。そこで計画の目標値を見ると、市民意識調査で市役所への不満度は現状値20%余だ。それを4年後の目指そう値を17%にするところ。これは、現在5人に1人の不満を4年後には6人に1人に減らすということだが、市役所の姿勢としてどうか。民間だつたらやっつけていけないと思うが。

総務部長

客観的に難しい数値だが、姿勢として市民の評価が上がるように努力をするという方向性を示した数字だというふうにご理解いただければと思う。

質問

母子保健法の一部が改正されて、国は子育て世代包括支援センターを設置していく方針だが、小諸市での設置はどうか。

民生部長

29年度4月からを予定し、できることから取り組む。

子どもの貧困連鎖・認知症高齢者への対応と市内の高校再編を質す！



竹内 健一
(創正会)

の推移では倍増している。

質問

認知症高齢者の対策はどうか。

市長

行方不明のおそれのある高齢者へ靴の反射ステッカーを配布。高齢者見守り事業所は500以上が登録。行方不明者の捜索協力、地域での見守りが重要である。

質問

子どもの貧困連鎖への対応は。

市長

生活困窮世帯にある子どもが経済的理由で進学の挫折や引きこもりに陥る傾向であると認識している。

自立相談支援・住居確保給付金事業を実施し、困窮世帯には就労・生活支援で対応している。

質問

市内2高校の存続の捉え方は。

市長

再編統合が進んでおり存続は重要課題と受け止めている。県教育委員会や両校との連携を図り情報収集から対応していく。

職員数削減が

市民サービス向上につながるのか



柏木 博美
(日本共産党)

質問

厳しい財政状況から、人権費削減で職員数を減らし仕事を兼務することで個々の仕事に注意が行き届かなくなり、最後の確認不足が仕事のミスに繋がっているのか。それが予想外の多額の財政支出になれば市民サービスの低下を招く結果になる。職員削減についてどう考えるか。

市長

職員の減少はぎりぎりのラインでやっている。税金が年々減少してくる中では増やすことはできない。ミスが起きないよう働く環境、意識の向上に努めていく。

質問

小諸市の就学援助費は小学校10%、中学校は15%で、ほとんどが生活保護世帯に準じる準要保護だ。今の貧困は食べるものに困るような絶対的貧困ではなく、進学や就職などが自由に出来ない相対的貧困だ。その中でメガネがなくて黒板の文字がよく見えないと学力にも影響する。メガネの購入について就学援助費で対応している自治体もある。検討できないか。

教育次長

そういう自治体があるということなので調べてみたい。

質問

就学援助の入学準備金の支給を、準備ができるよう前倒し支給できないか、との9月議会での質問に、検討するとの答弁だったがどうか。

教育次長

所得確認があるので、従来の9月支給を6月末か7月の頭頃ぐらいまでの前倒しができるといふ検討の結果になった。

太陽光パネル設置の協定書締結と条例制定について 第三回全国風穴サミット小諸開催について

質問

私も7月より関わってきたが、天池住民と設置業者は6回に渡って協議を行い、11月30日に双方の合意により、協定書の締結がなされたが、協定書の内容について行政の評価はどうか。

市長

開発に起因する災害を未然に防止する為、小諸市環境条例第35条に定める自然環境の破壊防止等を目的にした開発協定に加え、長野県で作成した太陽光発電を適正に推進する為の市町村対応マニュアル中の協定書が反映されており、その中では災害防止はじめ、損害補償、景観の保持、環境保全事業終了の



中村 憲次
(新政会)

取り扱いまで、地域全体で粘り強く協議を重ねて合意に至ったことに敬意を表する。

質問

太陽光設置についての条例制定に向けてどう取り組むか。

市長

設置規制の条例は審議会等で協議していくが、まずガイドライン（指導要綱）の制定を三月位を目途に早めに進めたい。

質問

第3回全国風穴サミット小諸が来年9月に開催されるが、成功に向け行政の取組みはどうか。

市長

全国サミットの開催については心強く感じており、開催に向け会場の提供等協力していきたい。氷風穴は全国的にも貴重であり、文化財としても可能なら検討したい。小諸市の財産として地域の活性化、また観光誘客としても期待できることから、「こもろ観光局」でも観光振興の一環として取り組みたい。

防災に子どもなど弱者の視点を！ 子どもの貧困、いじめ、不登校… 声なき声に耳を傾けよ！

質問

防災に子ども、高齢者、女性、障がい者など、弱者の視点を取り入れるべきではないか。

市長

粉ミルクや使い捨て哺乳瓶、紙おむつなどの備蓄を進めていきますが、子どもや高齢者などの要配慮者に配慮した避難所運営についても検討していきます。

さらには、災害時における心のケアの早期実施が重要となることから、子どもや高齢者などの要配慮者の一人ひとりに寄り添った、心理的なケアの実施体制についても検討していく予定です。

質問

小中学校での主権者教育について、どのような展望を持っているか。

教育長

アクティブラーニングなどの学習を取り入れ、自ら考え行動できる力の育成を図っていきます。また、選挙管理委員会などと連携、協力しながら実効性のある取り組みを進めていきたいと考えています。

質問

子どもの貧困、いじめ、不登校など、当事者・経験者の「声なき声」に耳を傾ける姿勢を持つているか。

教育長

極めて困難な状況の中で、切実な「声なき声」を叫び続けている人々がいることに、私たちは真摯に向き合わなければならぬと思います。そういう状況に気づき、向き合う感性を磨く、このことを忘れてはならないと改めて思っています。



小林 重太郎
(改革の嵐)

園の8割を占める
臨時保育士の賃金改善を！



早川 聖
(日本共産党)

質問

保育士不足が深刻化し、都内で多くの民間保育施設がオープンするが、必要な保育士数が全く確保できていないと新聞記事にある。市長の感想を聞きたい。

市長

保育士不足が大変深刻化し、憂慮しています。

質問

保育士や幼稚園教諭の資格を取っても田舎に望む就職先がなく、地方の保育士が都会に流出してしまう。これを阻止する仕組みづくりが急務ではないか。

市長

処遇等はできる限りのことをしないとイケないと感じた。

質問

臨時職員だから、一生懸命働いても昇給・昇格も無い、ボーナスも無い。無い無いづくめで月16万9千500円では、独身者の場合は生活することは並大抵ではない。ここから家賃を払って車のローンを払ったら幾ら残るのか。貯金も出来ない。生命保険にも入れない。彼女や彼氏もできない、ましてや結婚もできない。こういった保育士が現に存在し、職場を支えています。言い方は非常に悪いが、生かさず殺さず生殺しではないのか。

市長

深刻に受け止め、様々な角度から総合的判断で善処したい。

質問

国家公務員にボーナスが支給され安倍総理は418万円、閣僚は349万円で臨職の年収を遥かに凌ぐ。臨職の時給の引き上げや一時金の支給は検討したのか。

総務部長

検討したが、見送りとした。

議員紹介コーナーへ おいでなんし パート5

質問事項 ①居住地 ②趣味 ③座右の銘 ④つぶやき

15番 田中寿光議員
会派 創正会



- ①六供
- ②油絵・バードウォッチング
- ③日々新なり
- ④日々の生活にメリハリをつけたいが、できない。

14番 小林重太郎議員
会派 改革の嵐



- ①田町
- ②自撮り
- ③自分が一番バカだと思え！
- ④若い人たち、そして子どもたちの世代にバトンタッチ！

13番 中村憲次議員
会派 新政会



- ①加増
- ②ゴルフ・詩吟・油絵
- ③進取の気性（積極性）
- ④健康の維持管理はやはり「正しいゴルフの素振りを1日15分欠かさず励行する事」健康が第一をモットーに継続することが基本と考える。

議会基本条例を策定しました

議会制度改革検討委員会では、「小諸市議会基本条例」の策定作業等のため、委員会を26回に亘り開催してきました。そして、12月定例会に条例案を提出し、全会一致で可決、成立しました。

地方分権一括法や地方分権改革推進法の施行など、地方分権改革の進展に伴い、地方自治体の自己決定権や責任の範囲が拡大する中、二元代表制の一翼を担う議会の役割や責務も増大しており、議会は、議事機関として、公平かつ公正な議論を尽くし、意思決定を行うことはもとより、政策立案能力や監視・評価能力の向上、更には、主権者である市民への説明手法の多様ななど、より一層、議会機能を充実強化していくことが求められています。

こうした中で、本市議会は、これまでも様々な改革を進めてまいりましたが、市民の負託に応え、真の地方自治を実現していくためには、現状に満足することなく、更なる改革に取り組んでいかなければなりません。

議会基本条例は、本市の更なる発展に向け、議会がその役割を適切に果たしていくことができるよう、議会の基本理念、議員の活動原則等を定め、あわせて議会と市民及び市長等執行機関との関係を明らかにし、議会の目指すべき道を指し示すため、制定するものです。

本条例は、前文と9章から成る本文26条および附則で構成されています。

前文

市民の負託に真摯に応え、開かれた議会、行動する議会として、議員としての使命を果たす決意を謳いました。

第1章 総則

条例の目的と位置づけを定めました。
この条例は、議会の運営及び議会活動に関する最高規範と位置付けています。

第2章 議会及び議員の活動原則

二元代表制の一翼を担う最高意思決定機関として、第1条の目的を達成するための基本的な活動原則と議会改革の推進及び会派の位置づけを定めました。

第3章 市民と議会の関係

会議の公開や意見交換の場の設置、市民の皆さんへの情報の公開や広報広聴の充実について定めました。

第4章 行政と議会の関係

市長等と常に緊張ある関係を保持することや、市長等が、議員の質問に対して論点を明確にするために反問することができることを定めました。



※条例の詳細はホームページをご覧ください。

第5章 議会運営

議員同士の議論を尊重し、公平で公正、効率的な議会運営に努めることや、委員会の運営に関する基本原則を定めました。

第7章 議員定数、議員報酬及び政治倫理

議員定数の考え方として、議員の責務や活動実態に合わせ、その機能を損なわないこと、また財政改革の視点や他市との比較、市民意見などを総合的に判断することを定めました。

議員報酬は、市民の負託に応える議員活動に対して支給されます。改正する場合は定数と同様の理念に基づき検討することを定めました。

第6章 議会の権能強化

議会の機能を強化するための検討会や調査機関等の設置、研修や調査研究、他市町村との連携、議会事務局の体制整備などについて定めました。

第8章 政務活動費

政務活動費の適切な執行と公正性及び透明性の確保のための情報公開について定めました。

第9章 補則

社会情勢の変化等を勘案し、定期的に見直しを行うことを定めました。

私たち議員は、これまでに以上に、選挙によって選ばれた市民の代表者であるという基本原理を自覚し、市民と共に歩む「開かれた議会」「行動する議会」を目指し、市民の意思が本当に議会に反映されているのかを常に考え、合議体である議会の議員一同が、この条例を遵守していくことが、本市議会にとって大きな改革の第一歩であると確信しています。

説明会やパブリックコメントに協力くださった皆様には感謝いたします。

12月16日
小諸市総合計画第10次
基本計画審議特別委員会
報告

- 11月29日 委員会
議案の説明及び質疑と一部討論
- 12月12日と13日
総務文教、福祉環境、経済建設の分科会を開催して、積極的な議論を行った。
- 12月15日 委員会
分科会からの報告を受け、全体での審議
- 12月16日 委員会
右記の結果を受けて、理事者より議案の訂正請求があり、再度委員会を開催して、訂正案の審議を行った。

【主な質疑、意見及び
所管部の答弁】

【第1章 財政目標】

質疑

実質公債費比率の目標値について、根拠と達成見通しはどうか。

答弁

長期財政試算で試算した数値を根拠としている。平成31年度の決算数値で最低限のラインとして設定した。

小諸市総合計画第10次基本計画を定めるため、小諸市議会の議決すべき事件を定める条例の規定により議会の議決を求められたものです。

【第2章 こもろ未来プロジェクト】

質疑

厳しい数値ではあるが、運用の中で原因分析しながら改善策を検討し、達成に向け努力していく。

答弁

ふるさとPR事業を予定している。

【理事者が訂正に応じた
主な意見】

【政策1 子育て教育】

意見

「生きる力」の育成は、教職員の指導力の向上だ

けでなく、「体験的な学習」など、その他にも必要な要素があるのではないか。

【政策2 環境】

意見

ミッションに「自然を守り」とあるが、生態系全体の視点から捉え、冒頭に「豊かな」を追加してはどうか。

【政策5 生活基盤整備】

意見

施策に「安全な水道水の安定供給：」などがあるが、政策に明確な記述がないので追記すべき。

意見

今回の策定に当たっては、市民協働の視点から市民の意見を取り入れる工夫をすること等

【反対討論】

「同和」という文言を削除して「人権教育」とするべき。

【賛成討論】

同和問題は重要。この表記で問題はない。
☆表決の結果、賛成多数で訂正後の原案可決。

傍聴席



本町区
丸山 厚至 さん

新庁舎4階の新しい議場は、議員席と理事者側が向かい合い、対面する形がとられており、以前のような議員席の後ろからではなく、階段式の傍

聴席からは両者の様子が判り易く傍聴することが出来ました。
質問時間がデジタルで掲示され、スクリーンも設置されており、設備面では時代に即していると感じましたが、まだ映像などを活用した質疑応答に至っていないと感じました。

議会のIT化が、国会の衆参の委員会などで徐々に進んでいるようですが、二元代表制である地方議会の方がむしろ実現し易いのではないかと私は思います。
議事進行を望みます。
新しい施設、設備を生かし、活発な議論により小諸市が発展することを願います。

事前の通告により対応する市職員も、席順など業務に支障が無い様に調整しているようですが、空席が気になりました。
議会側の方も議員番号順に議員席を決めるのではなく、質問順に並ぶなどして、同じ内容の質疑応答を避け、緊張感のあるスピーディーな議会運営、議事進行を望みます。

編集後記

12月議会では、小諸市議会の歴史に大きな足跡を残す出来事が二つありました。
一つは、最終日に議員発議で議会基本条例を提出し、全会一致で可決したこと（15頁参照）。
もう一つは、小諸市の最上位計画である総合計画の第10次基本計画の審議において、しっかり行政へのチェック機能を果たしたことです。

この議会は、市の全ての事業の元となる行政計画で、議会は特別委員会を設置し、各政策・施策について常任委員会が審議し、23ヶ所の修正を求めました。そこで急遽本会議が開かれ、行政が議会の修正に応じた訂正案を提出し、最終日に可決に至りました。これは地方自治における二元代表制がしっかり機能した姿であったと思います。
この議会だよりが皆様のお手元に届くころ、17次議会は任期の後期に入ります。新しい所属、構成となりますが、節目を迎え、初心に返って努めて参ります。
(神)

